

NPO法人ありんこ公式ホームページ

arinnko.sakur
a.ne.jp

右のQRコードを読み込むと、ホームページを閲覧できます。



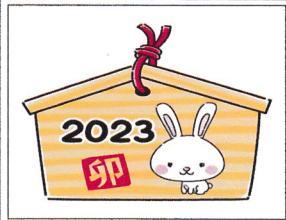
ありんこだより

発行 NPO法人ありんこ編集部

編集責任者 一戸 由佳

住所 青森県弘前市大字富米
字笹崎80-1

電話 0172-96-2774
Fax 0172-55-9591



あけましておめでとうございます

令和5年を迎えました。新型コロナウイルスとの付き合いも3年が過ぎ、少しずつ日々の暮らし方に慣れてきたように思います。

引き続き、出来る限りの感染予防対策をしながら、工夫している様々な活動が復活できるようにしていきたいです。

また、今年こそ、「ありんこまつり」も実施できるように、年明けから準備を始めます。これまでと同じ形での開催は難しいと思いますが、1年に1度の「やよいのあかり」と「ありす」の皆さんがご家族と一緒に、地域の方々と関われる楽しい機会を作っていきたいと思ひます。

今年4月からは、「ハートフルケアありす」が、弘前市新里(桃太郎温泉近く)に新築移転オープンします。これまで青山地区で築いてきた地域の皆さまとの関わりが途切れてしまうのはとても残念なので、移転後も青山の場所を、活用できないか検討しています。まだ、具体的には何も決まっていますが、例えば法人の関係者交流施設として、いろいろな会議、講習会、習い事等で、地域の方や職員、保護者の方に使ってもらうなどといった使い方が可能だと思ひます。

まずは、「ありす」の引っ越しが無事に終了し、4月から新しい環境で、スムーズに新年度がスタートできるように、これからしっかりと準備いたします。3月中には内覧会(プレオープン)を実施したいと思っており、詳しい日程が決まり次第皆さまにお知らせいたします。

引き続き、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

「ありんこ村」プロジェクト 力及ばず 残念です

2度目のチャレンジとなった、日本財団さんの「みらいの福祉施設プロジェクト」は、12月に2次審査の結果が出て、残念ながら、私たちの「ありんこ村」は、通過できませんでした。

11月に1次通過を受け、最終プレゼンテーションに向けて準備を進めてきたので、その機会がなくなり、とても残念です。けれど、その中で、私たちに足りなかったものも明確になりました。3度目の募集があるかどうかはわかりませんが、「ありんこ村」を形にするまで頑張っていきたいと思います。

師走の忙しい中写真を送って下さった皆さま、プレゼン練習に付き合ってく下さった皆さま、本当にありがとうございました。今後ともご支援よろしくお願ひいたします。

エコキャップ・プルタブが届きました



年明けすぐに、一般の方から「エコキャップを届けたいのですが」と電話でご連絡をいただき、早速大きな袋いっぱい届けてくださいました。また、一緒にプルタブも受け取りました。遠方からお越しいいただき、ありがとうございました。

12月の活動



12月のありすは、クリスマスイベント一色でした。カワイイサンタやスノーマンのミニケーキを食べたり、サンタクロスにプレゼントをもらったり。利用者の皆さんも様々な装いで、サンタと記念撮影をしていました。

また、いつもお世話になっているお隣のお家に、みんなで作ったクリスマスリースをプレゼントしました。お届けする時は少し緊張したようですが、とても喜んでもらえたようで、こちらも嬉しくなりました。春までもう少し、屋内活動を充実させたいと思ひます。



ハートフルケアありすコーナー

サンタクロース came to Arisu



食べちゃうのがもったいない！カワイイケーキね



Merry Christmas



サンタさんと笑顔のツーショット「誰？」と怪訝な顔をしたり。



誰だ？

